

小学校英語教育学会は、小学校において英語を教える先生方、そして子どもたちのために、小学校英語にかかわる実践と研究を交流し合う場です。小学校英語は、必修化から教科化、早期化へと歩みを進めてきており、本学会は、ますます高まるニーズに応えるために活動を続けてきています。

教育実践や研究は、個人がひとりだけで取り組んでいては限界がありますが、学会という場は、交流と対話を通して、新しい知見を得たり、課題解決の糸口を見いだしたり、さらには励ましや共感を得たりして、ひとりひとりが成長してゆける場です。

小学校英語は、小学校で自分自身が英語の授業を受けた経験がない教師が多いため、イメージが持ちにくい科目です。いろいろな悩みや疑問がわいてくるものと思います。

「英語の時間、子どもたちがつまらない顔をしている」

「表現をなかなか覚えてくれない」

「文法は説明しなくても良いのか」

「単語はどう指導すべきか」

「読み書きはどう教えたら良いのか」

「評価はどうすればよいのか」 などなど

すべての悩みや疑問に答えがあるわけではありませんし、普遍的な答えがあるとも限りません。しかし、多くの先生が共通の課題を抱えており、学会という場では、関係する課題に取り組む多くの実践家に会うことができ、貴重なヒントを得ることができます。さらには、この学会には、関連する課題を研究している研究者も所属しており、その知見からも学ぶことができます。たとえば、第2言語習得、動機付け、4技能の指導と習得、教材の分析や研究、特別支援教育など、多様な研究を行っている研究分野があります。ぜひそうした研究者とつながって、自らの実践の疑問や課題を解決したり、実践へのヒントを得てください。

自分一人だけ、学校の中だけにとどまるのではなく、ぜひ本学会に参加して頂き、全国の実践家、研究者とつながることで、ご自分の英語を通じた教育実践を広げ、深めていただきたいと思います。そうしたつながりや取り組みから、先生方の目の前にいる子どもたちが生き生きと学ぶ、英語を通じた教育が生まれてゆくことが、小学校英語教育学会の目指すところ です。